



ご意見は次のeメールアドレスへ  
公式HP & ブログは次のURLへ

sky@nagahata.jp  
http://nagahata.jp

phone : 072-878-3205  
fax : 072-877-1194

## こんにちは、市政報告です!

予定通りであれば、5月17日は臨時議会が開かれ、市議会の役選も行われます。私も四條畷市議会のルール通り行動すれば副議長の職を辞することになります。そうなりますと6月議会より一般質問も通常通り行えますので、市民の皆様のご意見や私の提案を市政に反映できるよう頑張ります。

## 「議員定数削減」について

右は今年3月23日の読売新聞の記事です。書かれている内容通り、約3年後の市議会改選時より、議員定数は現在の16名より12名になります。

**四條畷市議定数 12に削減可決**  
市長給料4月カットも  
四條畷市議会は22日、議員定数を16から12に削減する条例改正案と、田中夏木市長の4月分の給料を10%カットする条例案を可決した。同市議会事務局によると、議員定数削減は6年ぶり。財政難などを理由に、市議の一部が議員提案して

私は、長畑ひろのり News 49号や四條畷市内全域に全戸ポストिंगした私の所属する会派「畷市民クラブ」のチラシで報告した通り、4名削減議案に賛成しました。考え方を要約しますと、他市との比較(人口比、面積比)においては現状の議員定数16名で何ら問題ないが、本市の財政状況を考えれば定数削減を議会自ら積極的にしなければならない、と言うことです。しかし、議員定数を下げることへの弊害も確かにあります。市長の独裁になりかねない、行政への監視機能が低下する、市民の声が行政に届きにくくなる等です。ただ、そういう市民の声がほとんど私には聞こえなかったのも事実です。これはやはり我々議員が市民に対していかに受け入れられていないかと判断するしかないのではと思います。

この3月議会では議会基本条例も制定されました。今後はこの議会基本条例の基、年に2回(予算、決算時)以上の市政報告会を市民の皆様へ行うこととなります。このような活動を通じて、市民の皆様と議会と言うものを知って頂き、議員定数を増やして欲しいと市民の声が届くまで、市議会としては12名を維持していきたいと思っています。

## 「まいど」の廃止について

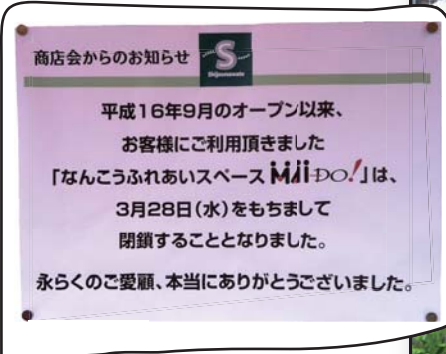
平成16年度に大阪府の補助金等を活用して整備された、栄通り商店街の「ふれあいスペース、まいど」ですが、商店会の本年2月28日の総会において存続が検討され、利用者が少ない等の理由で廃止と決定されました。私はこの決定が非常に残念でした。実は、平成20年6月26日に行われた議会での一般質問において、以下のような提案をしています。

「砂地区にできるイオンモールの影響を受けるであろう各商店街に住基カードを利用する証明書自動交付機を設置し、休日でも住民票をとれるようにするなど、商店街へ市民の足が向くような取り組みをして頂きたい。」

その答弁に対して「初年度経費約1600万円、保守料が約300万円、さらに1台機械を増やすごとに800万かかる。それだけの多額の費用をかけるだけの需要と効果があるのかに疑問。」でした。

その当時、私は証明書自動交付機1台800万円で置ける等の提案も行いました。今調べますと賃料&保守料の価格は1台当り100万円(同時に20台設置)の事例もあります。

イオンモール内に役所の出張所を置く計画でありながら、行政側は「まいど」を存続させる為に、家賃負担を申し出ましたがピントがずれているような気がしてなりません。商店街の生き残りとしてこれから「まいど」が必要な時期に、自動交付機が設置されていたならばと残念でなりません。



# 「府有形文化財指定」について

平成24年(2012年)3月20日 火曜日

葎屋北遺跡の馬具類 府有形文化財に

右記産経新聞記事のヘッドライン通り、葎屋北遺跡の出土品が指定されました。以下、記事を引用します。

\*\*\*\*\*

古墳時代中期(5世紀ごろ)の集落跡「葎屋北遺跡」(四條畷市)から出土した馬具類が、府有形文化財に指定された。

同遺跡周辺地域が、日本書紀に「河内馬飼(カワチウマカイ)」と記された馬飼い集団の集落だったことを裏付ける貴重な資料である点が評価されたという。

指定された葎屋北遺跡の出土馬具は、馬に乗った際などに足を置く木製の「輪鍔(ワアブミ)」2点、騎上に人が乗ったり物を載せたりする木製の鞍(クラ)の一部「鞍橋(クラホネ)」1点、馬の口に装着する「鑣轡(ヒョウグツワ)」の部材数点。この部材は金属製やシカの角などで作られ、当時の朝鮮半島南部の製作技法と似ているという。

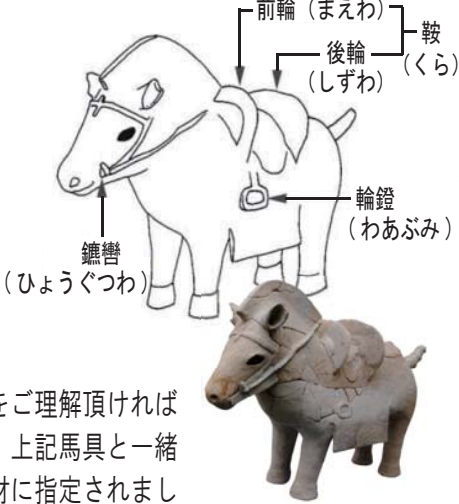
集落跡から馬具が複数出土した例は全国的にほとんどないという。これらの馬具とともに、土坑(ドコウ:穴)に埋葬されたとみられる状態で見つかった馬の全身骨格も「馬飼い集団の集落である事を示す貴重な資料」として併せて指定された。

\*\*\*\*\*

上記内容に資料を補足させていただきます。右は、四條畷市南山下遺跡の馬形埴輪と、それをもとに作図したものです(作図については大阪府のHPより)。この2点で馬具の位置をご理解頂ければと思います。また、上記馬具と一緒に大阪府有形文化財に指定されまし



「河内馬飼」の記述裏付け



た「四條畷市葎屋北遺跡の馬の全身骨格の画像」が左の画像で、近つ飛鳥博物館に展示されています。この実物大レプリカは、葎屋北遺跡に建つ「なわて水みらいセンター」に屋外展示されています。

# 「砂地区住居表示実施」について

以前の長畑ひろのり News でも何度か取り上げましたが、平成24年度の予算もつき砂地区住居表示実施が決定しました。また、4月17日には、砂区長と行政との話し合いに砂在住議員と一言で吉田議員と私も同席させていただきました。その時と以前に聞いていた内容は以下の通りとなります。

平成24年度と25年度で約1千万円ほどかかりますが、本年度は180万円の予算内で動きます。本年度の工程は下図の通りで、実施は平成26年2月になる予定です。そして、

作業項目	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
計画準備	■									
法務局調査		■	■							
地番照合				■	■					
別図作成				■	■					
平面図素図作成					■	■				
現地調査							■	■	■	
平面図作成									■	■

10月からは現地調査として砂地区に市職員や業者の方が入ります。また、住居表示審議会も7月に行われます。

これで市内に住居表示が実施されていない箇所は、大字南野・大字中野・大字岡山・大字葎屋・大字清瀧・大字上田原・大字下田原・大字逢阪の8箇所になります。但し、砂地区も全域実施されない場合は一部大字砂が残ることもあります。

# 「忍駅前オブジェ」について

本年4月1日、忍ヶ丘駅前に谷口智則(本市在住絵本作家)氏と、白川よしお(手描き絵地図作家)氏とのコラボで完成したオブジェが建ちました。高さは3mを超える立派な物で、今後はJR忍ヶ丘駅前のランドマークになればと思います。

ところで、長畑ひろのり News 41号に「忍駅前ロータリー改造計画(案)」という記事を載せています。要約しますと、以下の様になります。「東側ロータリーの噴水と西側ロータリーの時計台を撤去し、谷口智則さんのキャラから選んだオブジェと、本市出土の馬形埴輪の特大大サイズのオブジェを、それぞれのロータリーに記念撮影されるような内容のあるものを建てる。」規模こそ違え、谷口智則さんの今回の作品は馬の形も左の馬形埴輪に近く私の考えていた東西ロータリー案の両方を兼ね備えています。また、すでに多くの方が記念撮影もされています。

